

# 第24回日本臨床毛髪学会学術集会

大阪の真ん中で毛髪を語り尽くす



アデランスサイエンスシンポジウム

## 医療アイテムとしての ウィッグを語る

**開催日時** 2019年11月23日(土) 17:00～17:50

**会場** ヴィアーレ大阪 4F ヴィアーレホール

座長

大阪大学大学院医学研究科  
皮膚毛髪再生医学講座 招聘教授  
日本臨床毛髪学会常任理事  
日本美容外科学会 (JSAS) 理事  
別府ガーデンヒルクリニック くらた医院 院長

倉田 荘太郎先生

演者①

### ウィッグの効用・エビデンス

大阪大学大学院医学系研究科  
皮膚・毛髪再生医学寄附講座 特任教授  
心斎橋いぬい皮フ科 院長

乾 重樹先生

演者②

### 毛髪までもオーダーメイドするウィッグのテクノロジー

株式会社アデランス 研究開発部 次長  
公益社団法人日本毛髪科学協会  
毛髪診断士® 認定指導講師

伊藤 憲男





### 演者①

大阪大学大学院医学系研究科  
皮膚・毛髪再生医学寄附講座 特任教授  
心齋橋いぬい皮フ科 院長

## 乾 重樹 先生

### ▶ウィッグの効用・エビデンス

脱毛症状をカモフラージュするウィッグは外見上への影響だけでなく、内面的な生活の質(QOL)へも大きな効果が期待できることは想像がつくが、ウィッグの心理的な効果について医学的見地から調べられた報告は希少である。演者らは福祉用具心理評価スケール(PIADS)を用いて円形脱毛症女性患者49名、男性型脱毛症の男性患者26名、女性型脱毛症患者20名を対象としてウィッグのQOLへの影響を検討した。そ

の結果、PIADS平均、効力感、積極的適応性、自尊心の3因子はともにベースラインである0に比べて有意に増加し、いずれもウィッグ装着時の見た目への満足度を評価したVASスケールと正に相関した。以上より、ウィッグは脱毛症患者のQOLを改善するというエビデンスに基づいた医療アイテムであり、その効果にはウィッグ装着時の見た目への満足度が重要であった。

### 略 歴 等

#### 略歴

1991年 大阪大学医学部医学科卒業

1991年 大阪大学医学部皮膚科学教室入局

1992年 大阪労災病院皮膚科医員

1996-8年 米国留学(ウイスコンシン大学、ロチェスター大学)

この間、1997年 大阪大学大学院博士課程修了、学位取得

1999年 大阪大学医学部皮膚科学教室医員

2000年 大阪大学医学部皮膚科学教室助手

2006年 大阪大学医学部皮膚・毛髪再生医学寄附講座准教授  
(附属病院皮膚科兼任)

2016年～ 心齋橋いぬい皮フ科院長・大阪大学医学部皮膚科学  
講座招聘教授

2018年～ 大阪大学大学院医学系研究科皮膚・毛髪再生医学寄  
附講座特任教授

#### 専門医資格

日本皮膚科学会専門医、日本アレルギー学会専門医・指導医、日本褥瘡学会認定師(医師)、日本抗加齢医学会専門医  
学会役職など

日本臨床毛髪学会理事長、日本研究皮膚科学会評議員、日本アレルギー学会代議員(専門医制度試験問題作成委員)、  
日本抗加齢医学会評議員、日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会評議員(広報委員)、日本美容皮膚科学会評議員(雑誌編集委員)、  
日本褥瘡学会評議員、毛髪科学研究会世話人、Editorial-in-Chief, Hair: Therapy & Transplantation, Senior Editor, ScienceJet  
(Nanoscience and Nanotechnology Section), Editorial Board, ISRN Dermatology, Journal of Cosmetics,  
Dermatological Sciences and Applications, Case Reports in Dermatological Medicine, Associated Faculty member of  
F1000 (Post-publication peer review)

#### 受賞

第3回国際毛髪科学学会, Oral Presentation Award, 2001

第27回日本接触皮膚炎学会学術大会 ポスター賞2002

JSID Shiseido Fellowship Award, 2003.第4回ガルデルマ賞, 2003

第24回日本美容皮膚科学会 アイデアアンドイノベーション賞, 2006

第107回日本皮膚科学会総会 ポスター賞, 2008

第8回日本抗加齢医学会総会 奨励賞, 2008

第72回日本皮膚科学会東部支部総会 会長賞, 2008

平成22年度日本皮膚科学会雑誌論文賞(The Journal of Dermatology), 2010

F1000Prime AFM Travel Grant 2013

JD Award, Most Downloaded Articles in 2013

第14回日本抗加齢医学会総会プレナリー賞, 2014

